

第4回「周りの環境に目を向けることの大切さ」

仕事や予定に追われていると、無意識に「忙しい」と口に出してしまいます。日本では「お忙しいですか？」なんて挨拶代わりに使うこともあります。また、忙しいとは言わないまでも、何かピリピリした態度で、話しかけないでオーラを発している人を職場や周りで見かけたりします。「忙しい」と、たくさん口に出したり、「忙しそうなオーラ」を出していると周りの人はどう思うのでしょうか？ピリピリした雰囲気や圧迫されてしまい、遠慮され、その人と接触を避けようとし、入ってくる情報も入って来なくなってしまう可能性があります。忙しすぎるからと誘いも次第に少なくなり、情報を得られないことで後々、仕事上で大きな遅れをとることになってしまう可能性もあります。

「ゆでガエル理論」を聞いたことありますか？熱いお湯にカエルを入れると驚いて飛び跳ねる。ところが常温の水を入れ、徐々に熱していくとその水温に慣れていく。そして熱湯になったときは、もはや跳躍する力を失い飛び上がることが出来ずに、ゆで上がってしまうというものです。

私たちも、慣れた環境に浸りすぎて外部からの情報収集することを怠り、変化に気づかず変化だと察知できた時点では遅すぎて手が打てないということがあります。今までの慣れた環境に浸り過ぎてしまうと、いつの間にか周囲に目を向けなくなってしまいます。ゆでガエルになっていないか、自分自身が環境の変化に敏感に反応し、行動できているかを確認する必要があると思います。また、これから年末に向けて忙しくなると思います。

忙しい現実を受け止めながら、「忙しいオーラ」を振りまかないように意識したいものです。